２０２６射撃ワールドカップカイロ大会



令和８年１０月１０日、エジプトの首都カイロで行われた２０２６射撃ワールドカップカイロ大会に**花川直樹**（はなかわなおき）３等陸尉が出場し、１０mエアライフルミックス（男女混合）で優勝の成果を収めた。



出場３９カ国、７８名が参加した同競技に花川３尉は野畑美咲選手（トランスコスモス株式会社）とペアを組み出場。本戦（予選）はシリーズ１からシリーズ３の合計得点で上位４チームが決勝に進出する。４０分間で各シリーズ男女それぞれが１０発ずつ３回の射撃を行い、二人の６０発の合計得点で決勝進出が競われる。日本チームは花川３尉が３０発を３１６．０点、野畑選手が３１６．８点の合計６３２．８点で３位につけて決勝進出を決めた。

決勝には日本の他、クロアチア、セルビア及びドイツが勝ち上がった。決勝は２個ステージあり、まず４カ国８名が第１ステージとして２５０秒間で５発の射撃を３回繰り返し、第２ステージとして５０秒間で１発の射撃を３回繰り返し順位が決定し、その最下位が脱落していく方式という緊張感がある中で優勝を目指した。

決勝第１ステージでまず首位に立ったのはクロアチアチーム（３７６．３点）、次いでドイツチーム（３７５．０点）で日本は３７４．９点で第３位につけた。第４位にはセルビアチーム（３７３．７点）と続いた。第２ステージからは各選手３発勝負となり、第１ステージの得点と第２ステージ１回目の合計得点によりセルビアチームが第４位で確定した。残る３カ国で２回目の射撃が行われ、ドイツチームが第３位で銅メダルが確定し、残る日本チームとクロアチアチームで金メダルを争った。クロアチアチームとはこの時点で１．５点の差があった。最後となる３回目の射撃で花川３尉は３２．０という高得点を叩き出し、０．１点クロアチチームを上回る大逆転をみせて優勝し金メダルを獲得した。接戦をものにした花川３尉は、「緊張する場面でも１発に集中することができたのでこの結果を得ることができた。皆様の応援に心から感謝したい。」と述べた。



自衛隊体育学校
PHYSICAL TRAINING SCHOOL

公式ＨＰ